

MAXIMILIAN STRING QUARTET

BEETHOVEN SERIES VOL.5



桐原 宗生 *KIRIHARA Sohki : 1st Violin*

鹿児島県出身。3才よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て桐朋学園大学音楽学部にて学ぶ。在学中、N響アカデミー、小澤国際室内楽アカデミー、PMF、サントリー室内楽アカデミー、プロジェクトQ等に参加し、アンサンブルの研鑽を積む。2015年9月から19年3月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の第2ヴァイオリン首席奏者を務める傍ら、全国のオーケストラに首席奏者およびコンサートマスターとして客演。19年5月より札幌交響楽団の第2ヴァイオリン首席奏者に就任。またピアニスト反田恭平率いるJNO(ジャパン・ナショナル・オーケストラ)の創設メンバーとしても活動し、NOVA recordよりCDをリリース。第63回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。これまでにヴァイオリンを中島三幾、堀正文、久保良治の各氏に師事。

DOI Kanade : 2nd Violin 土井 奏

富山市出身。3才よりヴァイオリンを始める。1995年富山大学人文学部を卒業後ただちに愛知県立芸術大学音楽学部に入學。99年同大学を卒業後、セントラル愛知交響楽団を経て、2001年札幌交響楽団に入団し現在に至る。これまでにヴァイオリンを故大澤和夫、服部芳子の両氏に師事。01年7月岐阜県美濃加茂市にて、また09年2月には札幌ザ・ルーテルホールにてリサイタルを開催し、好評を博した。06年、富山シティフィルハーモニー管弦楽団とブラームスのヴァイオリン協奏曲を、また09年12月には富山大学フィルハーモニー管弦楽団とチャイコフスキーの協奏曲を共演。01年夏より富山にて“室内楽の愉しみ”シリーズを毎年開催。近年はオリジナル楽器による演奏活動も精力的に行っており、古楽器によるソロ、室内楽演奏会や、ムジカ・アンティカ・サッポロにも参加している。



物部 憲一 *MONONOBE Ken'ichi : Viola*

大阪市出身。1988年3月京都市立芸術大学音楽学部ヴァイオリン専修卒業。同年4月にテレマン室内管弦楽団に首席ヴィオラ奏者として入団。91年6月に同楽団を退団し渡欧、同年10月ウィーン国立音楽大学に入學。ヨーロッパ各地でソロ、室内楽、オーケストラ活動を行う。94年6月に帰国しヴィオラ奏者として札幌交響楽団に入団し現在に至る。道内はもとより国内各地で精力的に演奏活動を行う。また最近では古楽器による演奏を試み、2012年4月より古楽演奏団体、ムジカ・アンティカ・サッポロを主宰し、平成26年度札幌市民芸術祭大賞を受賞。これまでにヴァイオリンを岸邊百百雄、ゲルハルト・ボッセ、ヴィオラをウルリッヒ・コッホ、トマス・カクシュカの各氏に師事。またバロックヴァイオリンをエドワルド・メルクス、ヒロ・クロサキ、寺神戸亮の各氏に師事。

SARUWATARI Tasuku : Cello 猿渡 輔

千葉県出身。幕張総合高校音楽コースを経て、東京音楽大学、同大学院科目等履修弦楽器研究科を修了。サントリーレインボー21デビューコンサート、チェロコンgresジャパン等に出演。アラン・ギルバート、大友直人の両氏が芸術監督を務める音楽祭MMCJ、アフィニス夏の音楽祭など国内の様々な音楽祭に参加。2008年、札幌交響楽団に入団。12年、同団と協演。現在、副首席奏者。チェロを佐久間豊治、堀了介、D.フェイギンの各氏に師事。



マクシミリアン弦楽四重奏団

ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲全曲シリーズ

Vol.6 (2025年秋) 弦楽四重奏曲 第2番 & 第7番(予定)

会場=ザ・ルーテルホール

お問い合わせ=平和ステージ・オフィス 011-665-0675